

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	北翔大学短期大学部
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ホクショウダイガクタンキダイガクブ
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ I・インターンシップ II
	学部・研究科等名	短期大学部
	担当教職員名・役職	田口智子・教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	4
	受入企業等数	3
	受入企業等名	有限会社やまほ・NPO法人えべつ協働ねっとわーく・石屋商事株式会社(石屋製菓株式会社)
	インターンシップの分類	7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ,9.その他
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	NPO法人	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
要素②	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先指定部署における業務に従事すること併せて、インターンシップ生個々にテーマ<目標・課題>を設定してインターンシップに臨んでいる。例えば、地域密着電気店の場合、大型店と比しての強みと弱み、地域店における役割などを具体的に課題テーマとして掲げ、実習中に調査・検討し、最終的には成果報告会・レポートにまとめる。
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している,3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,9.その他
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	インターンシップに関わる教育課程として、インターンシップを履修するための必修科目「プロジェクトワーク」という科目を設定し、授業期間内にてスーツ着用を義務付けて開講している。
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	短大1年次
要素③	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	6単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ事前必修科目プロジェクトワーク2単位インターンシップ1 2単位インターンシップ2 2単位
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している,5.その他
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	1)インターンシップ目標を学生各自検討・設置し、意識向上を図る2)契約書<大学と企業・事前に受入先へ指導教員が打合せ訪問>と誓約書<学生-企業-大学・実習前に学生による挨拶訪問>
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている,4.その他
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	成果報告会開催:短大1年次インターンシップ、2年次になってから新1年生の前で成果報告会を行い、新1年生に司会進行を委ね、先輩から後輩への教育的道筋を作っている。
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している,3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	実習中の巡回指導と合わせて、受入先担当者と面談し、実習状況に関する情報交換や意見交換を行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	1)インターンシップ集中講義用独自教材テキスト「インターンシップの心得」を作成・活用し、3日間の集中講義を開講している。2)集中講義にて、留意事項の他、マナーやコピー機等操作方法を実践的に指導している。3)インターンシップのテーマを学生個別に設定させ、実習後の成果発表会にて報告している。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	1)実習期間内、指導責任者によるコメントを毎日記載し、実習最終日に実習評価票記入していただき、指定ファイルにて関連書類一式返送していただく。2)日報記載コメントと実習評価票に基づいて学生個別指導3)成果報告会用原稿作成4)インターンシップ成果報告論集レポート執筆	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	受入先各所を実習期間中に巡回指導している。学生と直接話し、状況伺いをすると共に、指導責任者や共に仕事を従事している方々ともお話しをし現場の様子を聞いている。	
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい	

要素④	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している。4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	1)100日プランの実施=100日間毎日続ける課題を個別設定し取り組む2)成果物が残る課題とし、簡単にできるものではなく、もう少しの努力で成せる課題を設定する。3)生活物を見せながら成果報告会を開催4)質疑応答<全ての発表会・報告会にて質疑応答を実施>
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ履修者必修科目「プロジェクトワーク」にて、汎用的能力を必要とするプログラムを導入している。例えば、「100日プラン」=これは、講義スタートから100日間で少しの努力にて達成できる課題を毎日遂行し、100日目に成果物を披露しながら成果報告会を実施しています。また、常に個人の考えをレポート化し、それに基づいてグループワークを展開すべく各科目で実施し、継続的なスキルアップに努めています。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	12日間&#12316;24日間<約3週間>
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先によって実習期間は異なっています。本学科インターンシップ基準実習期間は3週間WO提示し、受入先との相談で決定しています。最小実習期間2週間とし、3週間(休日含む)を原則としてします。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。7.その他
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	大学と企業、学生と企業、それぞれに契約書および誓約書を交わし、実習前から教育インターンシップの理解を得るよう、指導担当者と打合せを行っている。また、学生も事前に挨拶訪問に伺い、実習に関する打合せを行っている。
6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1)契約書=学生への指導および実習中の学生個人情報管理義務等を記載 受入先代表取締役名と本学学長名と公印押印の公式書類を交わしている。2)誓約書=学生が真摯に取り組む旨の意思表示の書類 事前挨拶訪問の際に手渡し、相互の信頼関係を築いている3)実習期間・内容等実習に関わる内容を書面にて記載SI提出いただいている。	
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	1年 <a href="http://www.hokusho-u.ac.jp/images/85/files/%E7%9F%AD%E6%9C%9F%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E9%83%A81%E5%B9%B4%E6%AC%A1.pdf">http://www.hokusho-u.ac.jp/images/85/files/%E7%9F%AD%E6%9C%9F%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E9%83%A81%E5%B9%B4%E6%AC%A1.pdf</a> 28頁・38頁 2年 <a href="http://www.hokusho-u.ac.jp/images/85/files/%E7%9F%AD%E6%9C%9F%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E9%83%A82%E5%B9%B4%E6%AC%A1.pdf">http://www.hokusho-u.ac.jp/images/85/files/%E7%9F%AD%E6%9C%9F%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E9%83%A82%E5%B9%B4%E6%AC%A1.pdf</a> 15頁
問い合わせ先	大学等名	北翔大学
	担当部署名	短期大学部
	担当者役職名	教授
	担当者氏名	田口 智子
	電話番号	011-386-8011
メールアドレス	taguchi@hokusho-u.ac.jp	